

令和5年度 第3回瑞浪市教育委員会点検評価委員会

日 時：令和5年7月7日（金）13：30～

場 所：市役所 4階 全員協議会室

出席者

委 員 5名出席

事務局 教育総務課長、総務係

説明者 教育総務課長、事務局次長（学校教育課長）、社会教育課長、スポーツ文化課長

1 委員長あいさつ

2 点検評価のまとめ

第1、2回委員会で頂いた委員の意見に対する教育委員会の対応等について、各課より説明

委員	各施策の1番下の欄に、教育委員会の対応の項目があります。 それは、令和4年度の事業の評価をしながら、そこで意見が出されて、それを受けて、教育委員会の対応を、考えていくということで、次のプランをつくっていくときの教育委員会の大きな重点というか、考えということでしょうか。
教育総務係長	年度評価になりますので、いただいたご意見を踏まえて、今年度以降に改善して、対応していくものです。

【基本目標1 施策1】

委員	意見なし
----	------

【施策2】

委員	14ページの、1番下の教育委員会の対応のところで、1行目から2行目にかけて「子どもたちの会話やふれあいの機会を増やしています。」とありますが、今後のことならば、「増やしていきたいと考えています」という語尾になると思います。
次長	「増やしていきます」と修正します。

【施策3】

委員	特別支援教育というのは、教育の原点と昔聞いたことがあります。教師も生徒も人間として生きていくその基本的な部分を培っていくということで、人事配置もよく考えていただいていると思いますが、そこに配置されている人の質ということをこれからも大切にしていきたいと思います。
----	--

【施策4】

委員	以前に、瑞浪市全体で道徳授業に取り組んでいた年もあり、研究発表も道徳を中心にされていきました。道徳は、やはり大切な授業だと思いますので、道徳授業の公開や先生方の研修を行うとありますが、これはしっかり進めていただきたいと思います。
次長	道徳も数年前から教科となり、教科書があって、毎月何をやるか決まっております、それを見ながら授業を行っています。また専門的に勉強している職員は少ないですが、3年に1度道徳計画訪問があり、教育事務所から道徳の授業について、それぞれの中学校区に回りながら指導を受けており、それも踏まえながら、道徳の勉強もしています。
委員	基本的にいじめというのは、あるというのが前提だと思います。早期発見早期対応と書いてありますが、いざ、最悪の事態が発生した時になると、どうしても学校とか教育委員会は隠蔽に入ってしまう可能性が非常に高いというのが、全国的な傾向ではないのかなと思いますので、そういうことがないように、いじめに対しては敏感な反応していただきたくよろしくお願い致します。
委員	今、いじめのことに関わってですが、先日テレビを見ていましたら、可児市のいじめ対策ということで、弁護士や人権擁護委員の方が、市内の学校を手分けして年に何回か訪問し、授業の様子を見ているということで、いじめ防止につなげているというような映像がありました。いじめがあったときに、指導したことによって、子どもが自殺してしまい、不適切な指導があったとマスコミで報道されてしまいましたが、指導の仕方も難しいことだと思います。強く叱る、大きな声を出すだけが能ではなく、日頃の人間関係も大切だと思います。 ノートに「先生うちのクラスでいじめがあります」と3人の子から書かれたということがあって、それに対応したことがあります。そのときに、私としては精いっぱい厳しく対応し、その時の話だけではなく、その後の指導につなげていきました。指導が難しいですが、まずは、先生を頼りにしてもらえ、指導に当たった教師も、校長等の管理職の方が、組織指導の内容を理解して、適切な指導を各担任にやってもらえる、報告を受けた教育委員会が適

	<p>切な指導をしていただけると安心して、思い切って一人一人の教師が指導に当たれるかなと思います。</p> <p>いじめがゼロになることはないと思いますし、いじめがあるものとして、毎日過ごしていく必要があるかなと思います。</p>
委員	いじめ対応マニュアルというものは、やはりありますか。
次長	<p>いじめた側いじめられた側もそれぞれ1人の人としてきちんと話を聞き、きちんと事実を確かめて、お互いの指導をしていきます。なおかつ、いじめは、再燃性があるので、3か月間という期間の経過をきちんと見て、継続性がなければ、いじめが解消したというようになっています。保護者にも必ず指導内容や状況を伝えます。保護者の方はお子さんが大事ですので、保護者の方の心の中がすっきりしないという場合があります。だから学校としてこういう指導をして、こんなふうに見届けて、今こんな状況ですよというのは常に連絡をとりながらやっていくことが大事だと思っています。いじめは、どこでも起こります。ただ、それが、深くならないように、気をつけたいと思っていますので、ご協力をお願いします。</p>
委員	<p>今日やっている委員会は、3回目で、報告書の作成に向けた委員会ということでいいですか。その報告書については、1回と2回の評価委員の意見を踏まえて、市教委が、今後の対応ということで、意見についてどうするかということが書かれていて、これでよいかどうかを見ていけばいいですか。いろいろ意見を出していいですか。</p>
教育総務課長	<p>はい、そのようにお願いしたいと思います。</p> <p>過去に言ったことで、これはやはり違うということがもしあれば、言っただければと思います。最終的には、この形が報告書にまとめる前段の案ということになりますので、訂正してほしいといった、ご意見を出していただければと思います。</p>

【施策5】

委員	意見なし
----	------

【施策6】

委員	<p>小学校が幼稚園の5歳児組を見に行くなどという説明がありましたが、例えば、そういう研修をしたということを加えておくと、今後のやり方が違ってくるかなと思いました。緊密な連携だけでは、少し分かりにくいと思いました。</p>
----	---

【施策7】

委員	意見なし
----	------

【施策 8】

委員	意見なし
----	------

【基本目標 2 施策 1】

委員	点検評価委員のほうの意見で、ここまで言ったのかなというのを確認したいのですが、「駅北複合施設にいい形でつないでいけるよう取り組んでいたきたいと思います。」とありますが、これはまだ決定事項ではないですよ。それに対して、こういう評価委員の意見を言ったのかなというのを確認です。
委員	駅北複合施設を作るというのは、まだ決定ではないという状態ですか。
社会教育課長	基本構想をパブリックコメントしている状況です。 基本計画は策定中です。
委員	決定がなされていて、それに対する目標をつくろうとしているのか、まだその決定ではないけれどもまずそういう概要をつくった上でということの準備段階なのかどちらですか。今、現段階で決定されているっていうわけではないですか。
局長	構想の段階です。
委員	決定ではなく、それに向けて準備をしているということですね。この決定というのはどういうところですか。こういうのが準備段階で整って、こういう形でというのができ上がった状態で議会にかけるのですか。
局長	議会だと思います。
委員	ここにはっきりこの言葉は使わず、ちょっとぼやかしたほうがいいのではないかというような意見です。具体的などこにいていないのに、委員が先走って、いい形でつなげてほしいという言葉を使ったのかなと。決して反対するわけではないけども、今の時点で、この言葉は、委員としてはありきの言葉になっているので。
局長	委員さんから合意を得られれば訂正してもいいのではないのでしょうか。この「駅北複合公共施設」というところの文言を、「今後に」とか、ぼやかとするわけですが、委員さんが皆さんよければ、そういうふうにしてもいいと思いますし、やっぱりこの言葉を発言したから使いたいということでもいいと思います。
委員	私も含めて市民の捉え方が、もう作るものだというような雰囲気があるのかもしれないなと思います。 私が気にしていたのは、そこに公民館機能を持たせるのかお聞きしたかつ

	たです。ただ、これをちょっと強く言ってしまったかもしれません。
社会教育 課長	駅北複合施設の発言については、明確には出ておりませんので、言葉を変えさせていただきます。
局長	公民館機能についても、まだどうするかは決定していません。
委員	「地域交流や生涯学習の拠点としての役割を果たせるよう」というのは、公民館がということですか。
社会教育 課長	主だつては公民館だと思いますが。
委員	加えたほうが読みやすいと思います。
社会教育 課長	公民館や市民図書館は、地域交流や生涯学習の拠点を担っていると、具体的にしようと思います。
委員	今言われているのは中央公民館がという話ですね。
社会教育 課長	ここでは各地区公民館も含まれています。

【施策2】

委員	公民館主催の家庭教育学級というのは、保護者が対象なのか、地域の人も対象になるのか。
社会教育 課長	地区となると地域の人です。
委員	地域の人に対する周知は必要ないのでしょうか。
社会教育 課長	各公民館は公民館便りで周知をしていますが、年度当初には生涯学習ガイドブックを作成していますし、開催日が近づいてくると各地区公民館で周知をしています。保護者の方には学校を通してお配りしています。
委員	これまでは、公民館と学校との連携が、少し弱かったっていうとらえ方でいいのでしょうか。
社会教育 課長	周知の方法が今までどうだったか分かりませんが、今はコミュニティ・スクールが始まって、地域と学校が密になってきておりますので、情報発信は多くしていきたいと思っています。
委員	学校との連携を図り、多くの保護者を対象にしていますが、地域も入るのならば、地域も含めた文言にすべきではないかなと思います。
社会教育 課長	より具体的な記載にします。

【施策3】

委員	「寿大学」という名称がどういったものに変更されていますか。
----	-------------------------------

社会教育課長	「釜戸楽園」など、より参加しやすい、若い年代の方にも親しんでもらえる名前に変える動きはあります。
委員	変更した名前の例も加えられると分かりやすいと思います。

【施策4】

委員	コミュニティ・スクールと地域学校協働本部、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の場という2つになっています。 確かに二つの団体があることは認めます。ただ、瑞浪市はそれを一本のものとしてやりましょうという方向性がもう既に出ているので、ここであえて二つの団体を出すよりも、コミュニティ・スクール一本で行ったほうがいいかなと思います。
社会教育課長	修正します。
委員	2行目の「関係者間での情報共有を図り」というのは具体的にはどういうことでしょうか。
社会教育課長	ボランティアの方や公民館同士、図書館で情報を共有していくということです。

【基本目標3 施策1】

委員	樽の上野球場が、ぺんぺん草だらけで、とても野球ができる状態ではないですが、これについてはどのようにお考えですか。
スポーツ文化課長	除草については年に数回行っています。樽の上野球場については将来的な話ですが、明世に市民野球場がありますので、そこに集約する方向で考えています。
委員	何年か先の話だと思うけど、それに対して今あの状態がいい状態なのかというのをお聞きしたい。
スポーツ文化課長	どちらかと言われると、良い状態ではないです。できる範囲で除草剤をまいたり、利用される方に協力してもらったりしています。
委員	今利用されていますか。
スポーツ文化課長	幼稚園が運動会で使ったりしています。
委員	放置した状態で、何もされないっていうところなら、まだ分かりますが、現に、幼稚園の運動会などでも使うという前提があるのならば、やはり何らかの手だてをいただきたいと思います
委員	P T A 連合会の役員会で市民体育館の改修工事のことについて話題が上が

	<p>りました。「なぜ今の時期に改修工事になるのか。」「これからコロナも収まって色々スポーツ競技とか活動が盛んになるときに、この改修工事が入ると、今後の中体連とかに向けての練習の場がなくなってしまうのではないか。」「むしろそのコロナ禍のときにそれができなかったのか。」という話があり、そのような形に至った説明も分からないという役員の話がありまして、市民体育館の改修工事を行うに当たって、代わりにこういう場所が別で使えるというのがあったらいいなと思いました。学校開放だけでは、もしかしたら足りない面もあって、これから中体連や他市と競技する中で、瑞浪市で練習に力を入れる場所がなくなるのではないかという不安の声もあり、説明がもう少し具体的にあったらいいと思います。</p>
<p>スポーツ 文化課長</p>	<p>今思うとコロナの時期に当てはめれば良かったですが、多額なお金がかかりますし、補助金など、いろんなところの調整などがありますので、この時期になります。現在契約が終わりましたので、7月から6年7月までの13か月、工事を行います。費用は約7億7千万円かかっています。第1競技場は照明が半分しかついておらず、いたるところで雨漏りがしていて、カビで黒くなっていたり匂いがします。いつかはやらないといけないので、利用者の方にはご迷惑をおかけしますが、工事を行います。体育館を使っている方には、学校開放施設や日吉の体育館を使っただけをお願いをさせていただきました。ご不便をおかけしますが、利用者同士で話をさせていただいて、このような状況なので仕方ないと納得してもらって活動を継続している状況になっています。</p>

【施策2】

<p>委員</p>	<p>チラシ配布に協力していくとありますが、これは、誰がという主語は何でしょうか。</p> <p>学校がということであれば、「学校が」という主語を入れたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>スポーツ 文化課長</p>	<p>そのようにします。</p>

【施策3】

<p>委員</p>	<p>意見なし</p>
-----------	-------------

【施策4】

<p>委員</p>	<p>「指導者の確保に努めます」とありますが、スポーツ少年団は勝ち負けだけではないが、勝ち負けだけの考えの指導者も多く、必要以上に練習した</p>
-----------	---

	りということを聞いたことがあるため、指導者の資質向上も含めてやっていただけるとありがたいと思います。
--	--

【基本目標 4 施策 1】

委員	意見なし
----	------

【施策 2】

委員	意見なし
----	------

【施策 3】

委員	参考までに大きさを教えてください。
スポーツ文化課長	横 3 m、縦 2 m ぐらいです
委員	パレオパラドキシアクリーニングという名前で、呼び方で良いですか。
スポーツ文化課長	パレオパラドキシアの産状レプリカに修正します。
委員	この文化施設統合というところですけど、これは化石公園にある、化石博物館、陶磁資料館、市之瀬美術館、この 3 施設の統合ということですか。これは、あの場所で新たに作られるのですか。
スポーツ文化課長	3 館あります、公園内で行きたいという希望がありますが、色々問題があるので、市として正式に具体的な場所は決まっておらず、担当者レベルでの話になります。
委員	目標として 7 月に検討完了で、庁内にて協議とどんどん進んでいるみたいだったので、どのようになっているのかなと思いました。
スポーツ文化課長	7 月というのは、4 年の 7 月です。 当初は決めたいと思っておりましたが、多額の建設費がかかる施設になりますし、山もある急傾斜地なので決まっておりません。

【施策 4】

委員	意見なし
----	------

【基本目標 5 施策 1】

委員	対応の 4 行目の「保護者も多様化する中で」というところで、保護者が多様なのか、保護者の願いが多様なのか、保護者の何が多様なのか分かりません。
次長	表現を変えます。

【施策 2】

委員	釜戸小学校が今年の新 1 年生 5 名だったんですね。学校の複式学級になる基準というのは、どこにありますか。
次長	県の基準で、二つの学年を合わせて 15 人、ただし、1 年生が入る場合には 8 人です。例えば釜戸小でいくと、1 年生 5 人だとしても、2 年生が何人かいるので、合わせることはないので、1 年生は最初は 1 クラス 5 人で、手厚く見ることが可能になります。 その子供たちが上がる、令和 7 年度 2 年生になるときに、今度は 3 年生の人数少ないので、3 年生との合計が、15 人切ってしまうので、そこが複式学級になります。
委員	釜戸小だけでなく、やはり日吉とか陶もどんどんと小学校の人数が減ってきていますが、中学の統合を決めるときに、各地区の学校はできるだけ残したいから、小学校の統合は、まだ考えないということで中学の統合には踏み切ったのですが、小学校の現状から考えると、統合ということも考えてみえますか。
次長	現在、学区制審議会で検討しているところです。将来の児童数から複式学級の出現が見込まれますが、小学校については、複式学級でも工夫して指導できますので、意見をいただきながら答申がこれからされるものになってきます。
委員	中学校の統合のときに、競争意識を持たせなければならないので、複数学級を維持するというのは一つの統合の理由だったと記憶していますが、南中を見させていただいたら、今の小学校 1 年生からは全部 1 学級になる状況ですよ。
次長	令和 11 年ぐらいから 1 学級になり、その先はずっとそのような状況になってくると思いますが、それも学区制審議会で検討しておりますので、また答申が出ますのでお願いします。

全体

委員	点検評価を確実に実施していただいていると思いましたが、改善に役立っていただいて、成果を出してきているなということを思っています。年に 1 回こういうことをやらなければならないからというわけではなく、評価のための評価
----	---

ではなく、しっかりと取り組んでいただけるなと思いました。

特に今年思ったのは、学校教育のほうがやはり注目を集めやすく関心が高いと思いますが、注目を集めにくい学校教育以外の、図書館、博物館、スポーツ、文化といったところの取組が、昨年度に比べて様々な取組を試していただき、成果を上げていると思いました。

社会教育の文化とか施設の利用、利活用をしてもらえらるような情報発信ということで、一定の効果が出ていると思います。ただ、情報を受ける側、私たち側に確実に届いているかどうかということですね。ただ発信すればいいのかということ、どこまでいっても、やり足りないところがあるかもしれないなと思っています。今日テレビで見ましたが、全然質が違いますが、デパートの売上げが好調だという中で、外商という部署で、お客様、お得意様の、ニーズをよく把握して、その方を買っていただけるであろう物を選びすぐって、持って出かけるとか、あるいは来ていただく、そういったことで、売上げが70%も上がっているそうです。図書館、博物館と同じにするわけにはいきませんが、そのぐらいの思いで取り組んでいく必要がある時代になってきたのかなと思いました。情報発信しても、興味がないと手法が見えないので、飛んできた情報を相手の手のひらに乗せるぐらいやらなければならない時代なのかなと思いました。

学校教育でいうと、学力検査の結果を分析して、授業改善をしているが、10年前も20年前もあまり傾向が変わってないのではないかとと言われるわけが、どこの部分が定着していないのか、定着しづらいのか、なぜなのかと言われたときに、そういう分析をして職員で共有して、指導に活かしていったことがあります、それなりの理由があるのだと思います。

そういったことについても数値化できるよう、判定がしやすいような、別の資料としてでもそういったものが出していただけると、こんなに学校教育頑張っているということが分かるのではないかと思います。

どういう会なのか、探り探り質問をしながら参加させていただいたので、教育委員会の学校教育、社会教育、スポーツ文化、どの課も全市民を巻き込んで、全市民を牽引したりまた支えたりしていく、本当に、大事な仕事をしている部署だなと話聞きながら、膨大な資料を読ませていただきながら感じました。それを評価していくということは、大変難しいことで、自分の認識不足や勉強不足を感じながら、毎回参加していました。

保護者の立場は、学校教育以外の情報はなかなか入ってきにくく、私もここに参加させてもらって、社会教育課、スポーツ文化課のことは全然知らないことが多かったです。保護者の立場はそういうことを知らないことが多いので、今の時代、アンテナを張っている保護者の方は多いと思いますが、情報の発信の

仕方、インスタグラムとかそういうのも意見させてもらいましたが、その情報の発信の仕方が変わってくるのではないかなと思いました。私はこの会に参加して、もっと市報をよく見るようになって、読んでみると、面白いなと思って見たり、参加してみたいなと思った内容もあったので、保護者の方がどれくらい市報に目を通してみえるかなとは思いますが、そういう情報発信の仕方は、保護者の意見を聞くと、意見をたくさんもっているお母さんが多いと思うので、生の声を聞くと、新しい風が吹くのではないかなと思いました。評価の基準というところで、何回できた、何パーセントできただけの評価ではなく、その先の評価が本当はいるのではないかなとは思いますが、それを評価しようと思うとその基準というのがとても難しいと思います。なので、評価をするということが、難しいなと思いました。

今回の評価委員会において、私が新たに知ることもあり、市民の皆さんへの周知の仕方、本当に色々なことをされていることを全然知らないという方も、私の周りにはやはりまだあまりインターネットをそんなに開くこともしませんので、そうするとやはり1番見るのは、広報なので、もっともっと利用して、入り口をもっとたくさんそこにつくってもらい、詳細については、インターネットでということにすれば、ぱっと目に留まれば、何かなと思ってそれを詳しく調べてみると思いますので、やはり広報での周知と併用してもらえるといいかなと思います。

これからの瑞浪市をどうしていくか、地域の方との連携ということが本当に大事だと思います。市民の皆さんも自分たちの自分の町のことを知る、イベントについてもやはり、そういうことを踏まえ、また、お年寄りと子供たちの交流など、そういうこと全てがやはり地域の方々との連携が大事だと思います。

令和4年度までのことに対してですが、コロナの対策について、学校の先生方、市の職員の方、消毒で大変だったと思いますが、大きな感染拡大もなく、落ち着いてきたのは本当にありがたいことだと思います。